

IPW緩和ケアコース 多職種協働 事例検討研修

日時

2026/ 1/10

土

申し込み締切り：1月3日（土）

第5回

多問題家族：ヤングケアラー

13:00-16:00 (全6回)

事例

Aさん(43歳)は8年前に急性骨髓性白血病で骨髄移植術を受けた。8年後に再発し再度移植を受けたが、合併症の脳炎(短期記憶障害)で、日常生活が出来なくなつた。Aさんは家庭内別居中の夫の介助・介入を拒否し、中学生の長男を頼りに生活している。長男は、見守り、着替え・オムツの準備と片付け・買い物・病院への付き添い等を行っている。ヤングケアラーの家族の背景をアセスメントし、支援を考える

講師

がん研有明病院 がん看護専門看護師 濱口恵子氏

会場

オンライン
(ZOOM)

対象

医師・看護師・
MSW・薬剤師など

5/10 土 ケミカルコーピング

事例 認知症高齢者のAさんに積極的化学療法がなされている。家族の要望ではあるけれど…

講師 京都大学 臨床倫理准教授

7/12 土 麻薬:
ケミカルコーピング

事例 痛みの訴えと易度性が高くなっているAさん。これは医療麻薬の依存症？医療者は巻き込まれる

講師 金沢大学病院 専門薬剤師

9/13 土

「怒り」の
矛先になる時

事例

BSCを告げる時、激しい「怒り」で、治療継続を求めるAさんと家族にどう対応する？

講師

がん研有明病院 精神腫瘍科部長

11/8 土 AYAの治療拒否

事例 AYA患者のAさんは、治療を拒否する。家族は治療希望で医療者間でも意見が分かれて…

講師 聖路加国際病院 小児科部長

3/14 土

終末期鎮静療法
とSDM

事例 耐え難い苦痛でAさんは、「鎮静療法」を選んだ。家族は夜間・休日問わず、説明を求める

講師 国立がんセンター 緩和ケア医長

長野北信がんプロホームページの「受講者の方へ」から、または右のQRコードからお申し込みください。その際に、申込みフォームお問合せ欄に、第何回を受講されるかを記入してください。 例：全回希望、第5、6回希望 など



申込

主催

北信がんプロ
長野県看護大学大学院

事務局 長野県看護大学大学院 がん看護事務局
お問合せ gan-cns@nagano-nurs.ac.jp
<https://www.nagano-ganpro.jp/>

長野県北信がんプロ

詳しくはWebサイトをご覧ください
<https://www.nagano-ganpro.jp/>